

令和元年度

幼保小中の連携状況について（報告）

- ◇中学校ブロック内の取組について 1～11
- ◇中学校ブロック内の交流事業等について 12～34

ブロック名	ページ	
	ブロック 内の取組	交流事業
第一中学校区	1	・ 12-13
第二中学校区	2	・ 14-15
第三中学校区	3	・ 16-17
第四中学校区	4	・ 18-19
第五中学校区	5	・ 20-22
塩田中学校区	6	・ 23-25
第六中学校区	7	・ 26-27
丸子中学校区	8	・ 28-29
丸子北中学校区	9	・ 30-31
菅平中・真田中学校区	10	・ 32-33
依田窪南部中学校区	11	・ 34



上田市教育委員会
上田市健康こども未来部

令和元年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		一中学校区		構成園校	一中／神川小／東小／聖マリア幼／大屋幼／常田保／東部保／神川第二保／国分保／上田いずみ園
役員	元年度	会長	上田市立第一中学校		副会長 聖マリア幼稚園
	2年度	会長	上田市立神川小学校		副会長 大屋幼稚園

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)明るいあいさつが自分から進んで出来る園児児童生徒を目指す。 (2)毎月1回は「メディアコントロールデー」としてゲームやネットのスイッチオフを目指す。 特に上記の点を柱に情報交換を密にして取り組む。	以下の通り	◎
取組	(1)あいさつ運動の推進 ・一中区幼保小中園長校長会で作成した「あいさつ旗」を、各校各園の門や昇降口に立てて、引き続き挨拶への意識向上を図る。 ・家庭通知等の紙面にも挨拶の大切さについて掲載し、各園や各校での取組の理解と啓発を図る。	・あいさつの旗「あいさつだいすき みんなもだいすき」は、子供・保護者へも挨拶への意識づけとしても効果的だった。 ・旗については、状況を見て更新した。 ・各月一回参加している民生委員会でもよびかけ地域との連携を図った。	◎
	(2)メディアコントロールデーの推進 ・中学校区で統一したメディアコントロールデー(中学校の定期テスト前に揃える)を設定し、ゲームやテレビのスイッチを切って、親子遊びや読書、手伝い、友達との外遊び、学習をする時間として推奨する。 ・小中では、携帯端末・ネットトラブルの防止について学習や啓発に取り組む。	・小学校でも、メディアコントロールデーについて紙面で家庭通知を配布し、啓発に努めた。 ・小学校では、カードを作成し保護者と子供への啓発を図った。 ・保育園では、子供と保護者との関わりを願って家庭でのふれあいを工夫し積極的に取り入れている。	◎
	(3)子どもの姿を知るための情報交換や発信 ・毎回の連絡会では授業参観・保育参観を行い子供の姿から学び合った。	・同一ブロックの子どもたちの状況や各園各校での取組を知ることは大変有意義だった。 子供の育ちや育てたい力を一貫して考え、具体的に取り組む示唆を得る機会となっている。	◎
	(4)幼保小中での連携 ・特色ある取組を紹介し学び合う。 ・連携や交流について相談しあう。	・小学校6年生が中学校の文化祭を見学する機会をつくったり、中学校説明会で体験授業を実施した。 ・中学校の職員が、小学校6年生の授業参観に行く時間を設けた。 ・幼稚園・保育園の年長さんが、音楽会の練習を参観したり、小学校のプールで交流したり、学校で交流したりした。	◎

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月14日 (火)	常田保育園	・保育参観 ・自己紹介と計画立案および今後の見通しについて ・活動の進め方(あいさつ運動・メディアコントロールデー・交流学习など) ・交流に際しての留意点の確認
2	10月8日 (火)	聖マリア幼稚園	・保育参観 ・メディアコントロールデー あいさつ運動 ・幼保小中連携
3	1月27日 (月)	神川小学校	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望

令和元年度ブロック内の取組について

調査 1

1 概要

ブロック名	第二中学校区	構成園校	第二中/清明小/塩尻小/南部保育園/梅花幼稚園/聖ミカエル保育園/あそびの森あきわ/塩尻保育園		
役員	令和元年度	会長	第二中学校長 酒井 秀樹	副会長	塩尻小学校長 小出 敏男
	令和2年度	会長	塩尻小学校長 小出 敏男	副会長	清明小学校長 菊池 秀樹

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「挨拶」「返事」「靴揃え」を工夫して継続指導し、豊かな心を育てる。 (2)「メディアコントロール週間・子ども中心の日」を設け、情報が氾濫する社会において、的確な判断力を育てる。 (3)「個が生きる・個を生かす」支援のあり方を、各学校・園において、工夫・研究する。 (4)幼保小、小中の接続がスムーズにいこう、幼保小中の交流活動のあり方や内容を工夫する。	・中学校ブロックで取り組むことで、入学前、入学後の連携をスムーズに取ることができ、有り難い。きめ細かい情報交換をすることができた。 ・定期的なブロック会議を設けたことで、各校園の取組状況を把握することができ、会后自校園に持ち帰って活かすことができた。 ・目標、取り組みは来年度も今年度と同じ方向でよいと思われる。	◎
取組	(1)「挨拶・返事・靴揃え」 ・各学校・園の実状により年間を通して指導するとともに、地域・家庭へも折に触れ発信する。	・「挨拶・返事・靴揃え」は、個人差が大きい。自分のものになっていない子たちに、どのように必要感を持たせていくかが課題である。 ・職員も一貫した指導ができるように、それぞれの校園で取り組んでいく必要がある。	○
	(2)「メディアコントロール週間・子ども中心の日」 ・第二中学校の期末テストの期間に合わせて実施している。今年度は、6月下旬と11月中旬に実施した。	・「メディアコントロール週間」中は、各ご家庭で工夫して取り組んでいただき、有意義なものになった声もある。一方で、ゲームやSNSに依存傾向のある実態もあり、各家庭にどのように啓発していくかが課題である。 ・各校園で、講演会をしたり、お便りで伝えるなどして、「メディアコントロール」のよさをさらに伝え、実効力の	○
	(3)多様な個の支援のあり方を視点に、互いの学校や園の活動・授業を参観し合い、意見交換をしながら、個を生かした学力・生活力の向上を図る。(授業・活動参観4回)	・幼保小中の生活や学習の様子を参観させていただき、発達段階に応じた授業の過程をあらためて意識することができた。今後、各校園が抱えている課題をさらに共有して、自校園の取組に活かしていけるような活動も視野に入れていきたい。 ・それぞれの場で工夫されている活動や授業内容を、さらに共有していきたい。	◎
	(4)各校で交流活動・体験学習等を計画・実施する。また日頃の情報交換や意見交換を積極的に行い、園児や児童・生徒の理解を深める。	・現場の状況を、実際の姿から把握し、一人一人の子どもの理解し、何に課題があり、どのように取り組んでいくのか、学校種を超えての情報交換していく必要がある。今後も、課題意識を共有し、本会を活かしていくことを大切にしたい。 ・幼保小中の交流を通して、小1年生は上級生としての意識を強く持つことができた。年長児や小6年生は	◎

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月14日	第二中学校	○第二中学校の授業参観・感想 ○幼保小中の連携(挨拶の取組・連携による学力向上事業・要支援園児等)について 第2回の確認 ○各校・園の情報交換
2	7月10日	塩尻小学校	○塩尻小学校の授業参観・感想 ○幼保小中の連携(挨拶の取組・連携による学力向上事業・要支援園児等)について ○「子ども中心の日」(第1回メディアコントロール週間)の実施状況確認 第3回の確認 ○各校・園の情報交換
3	11月6日	南部保育園	○南部保育園の保育参観・感想 ○幼保小中連携について ○「子ども中心の日」(第2回メディアコントロール週間)の実施状況確認 第4回の確認 ○各校・園の情報交換
4	2月14日	清明小学校	○清明小学校の授業参観・感想 ○本年度の反省及び令和2年度年間計画について ○各校・園の情報交換

令和元年度ブロック内の取組について

調査 1

1 概要

ブロック名		第三中学校区		構成園校	三中／北小／西小／たちばな幼／上田幼／甘露保／芙蓉園／保かんぎおん／北保	
役員	元年度	会長	西小学校長		副会長	第三中学校長
	2年度	会長	第三中学校長		副会長	北小学校長

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	1) 挨拶・地域で声がけをしよう…… 学校で、家庭で、地域で、自然に「おはよう」「こんにちは」の挨拶で心を通わせ合いましょう。 (2) メディアコントロールをしよう…… テレビのスイッチを切り、ゲーム等をやめ、家族や仲間との会話や読書を楽しみましょう。 ※ 重点項目を三中ブロックで家庭や地域へ同一歩調で呼びかける。	・あいさつについては、「知らない大人へのあいさつの仕方」について各園・各学校共に指導に違いが分かり参考になった。 ・保護者対象のネットリテラシーの講座を幼稚園・保育園から行っていることを知り、情報交換ができた。昨年同様、園児・児童・生徒への啓蒙に保護者も巻き込んでいく方法を進める必要がある。	◎
取組	(1) 各園、学校における共通目標に関わる取組についての情報交換、連携 ① 各校・園の現状と課題について共有し、地域としての課題を確認する。 ② 各校・園の取組の工夫について情報交換し、自校・園の実践に生かす。 ③ 継続的な実践に心掛け、本年度の取組について成果と課題について共有し、来年度の方向性を見出す。	・各園・学校の育ちつつある姿や今後育てたい姿から各発達段階での子どもたちにとって必要な力について理解を深めることができた。また、地域の園や学校が何を大切にして、何を重点として取り組んでいるかなど、互いに知ることができた。 ・来年度は、メディアコントロールについて、子どもたちにもっと発信していくこと、子どもたちにわかるようにしていくことを中心に実践していきたい。	◎
	(2) 授業参観を通して、児童・生徒理解のあり方、個別支援のあり方等について協議する。 ① 実際の子どもの様子を参観し、具体的な姿を通して児童・生徒の理解のあり方について協議する。 ② 各学校園の、配慮を要する子への関わりの工夫と、その成果についての情報交換し、自校・園の取組に生かす。	・小学校、中学校、保育園の順に授業、保育の様子を参観した。それぞれ、各発達段階で身につけるべき力をつけるために工夫して指導・支援していることがわかった。 ・また、保育園参観では、新しい施設がどのような工夫で作られているのか、実際に見ることで学ぶべき点が多かった。	◎
	(3) その他、行事、施設開放等を通じた幼保小中の連携のあり方についての協議、情報交換	・地域の子どもの安心・安全を守るためにどう連携していくかについて話題になった。(今年度の暑さ対策・台風19号避難所対応をうけて) ・小学校のプールを保育園・幼稚園に開放していく。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月12日 (水)	西小学校	① 授業参観と感想発表 ② 本年度、「連携の重点」に関わる取組について ③ 各校、各園での現状と取組について
2	12月2日 (月)	上田第三中学校	① 授業参観と感想発表 ② 各園・各校の状況や取組について (含 台風対応等 暑さ対策等) ③ 本年度の連携 重点項目と呼びかけ・取組等について ④ 各園・各校の連携に向けた取組等について
3	2月4日 (火)	たちばな幼稚園	① 保育参観と感想発表 ② 幼保小中連携の取組と反省について ③ 来年度の年間行事の日程調整

令和元年度ブロック内の取組について

調査 1

1 概要

ブロック名		第四中学校区	構成園校	四中/城下小/南小/みのり保/城下保/下之条保/上田南幼/三好町保		
役員	元年度	会長	第四中学校長		副会長	みのり保育園長・城下小学校長
	2年度	会長	城下小学校長		副会長	三好町保育園長・南小学校長

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)幼保小中の接続をどうするか、参観や話し合いを通して、現状を見直していく。 ①支援を必要とする子どもについての連携 ②基本的な生活習慣・生活のリズムの確立における連携 ③幼保小中のスムーズな移行のための取組	①情報を確実に引継ぐこと。 ②職員がお互いの園や学校で参観や実習することで学び、自分の園や学校の保育や指導に生かすこと。 ③交流等で園児・児童・生徒がお互いに関わること。 以上3点を確認して今後へ繋げることができた。	○
取組	(1)参観を通して先生方の子どもたちとの関わりから学ぶ。	①参観や所属長の話から、園や学校で大切にしていることや、子どもとの関わりで配慮していることを学ぶことができ、自園・自校の運営に生かすことができた。 ②発達段階に応じて大事にしていることがわかり、繋げていくことの重要性を確認することができた。 ③職員の保育参観・実習や、小中学校の参観を実施し、自園・自校に還元した。 ④ユニバーサルデザイン化の観点から、特に「環境調整」の面で、参観保育園・小学校の実践から学ぶことができた。	○
	(2)幼保小中の接続という点からの情報交換と話し合い	①幼保から小、小から中への移行で、十分な引継をしていくことを確認した。担当者が替わったために引継が不十分ということがないようにしていく。 ②近隣の幼稚園・保育園職員が小学校の活動に参加したり交流したりして成果があった事例が紹介された。 ③支援会議の持ち方について協議した。 ④現場の先生方が繋がりが持てるように進めていく。 ⑤小中連携は、小中連絡会を中心とした職員の情報交換、小中全職員による「四中区の児童生徒を考える会」(分科会)を実施した。この会の在り方については今後検討していきたい。 ⑥幼保小の子ども同士の交流事業がインフルエンザ流行により実施できないことがあるので、早い時期に交流を計画する必要性を共有した。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月2日	真田中央公民館	①自己紹介 ②年間計画立案 ③情報交換
2	11月22日	第四中学校	①授業参観と参観後の感想 ②幼保小中で連携して育みたい力の共有 ③幼保小中連携のあり方について ・幼保小中の交流 ・移行支援会議等の情報の引継 ④情報交換 ⑤次回の予定
3	1月21日	みのり保育園	①保育参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 発達段階に応じた環境調整のあり方、基本的な生活習慣の育成、保護者支援について ③移行支援会議等の情報の引き継ぎについて ④1年間の反省と次年度の計画

令和元年度ブロック内の取組について

調査 1

1 概要

ブロック名		第五中学校区		構成園校	第五中 豊殿小 神科小 あゆみ保 上田北幼 神科第一保 神科第二保 豊殿保 認定こども園にしおか	
役員	令和元年度	会長	神科小学校		副会長	認定こども園にしおか
	令和2年度	会長	第五中学校		副会長	あゆみ保育園

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	《キャリア教育を視点においた五中区の取り組み》 (1)正しい姿勢づくりに力を入れた基本的な生活習慣の確立 (2)メディアへのかかわりの現状理解とつきあい方の工夫 (3)特別な支援の必要な子ども理解 (4)連携・交流事業	・授業参観、保育参観の折に「正しい姿勢づくり」という視点をもって参観し、その後の意見交換で、共通した取り組みやそれぞれに必要な取組について考えることができた。	○
取組	(1)正しい姿勢づくりに力を入れた、基本的な生活習慣の確立 ・正しい姿勢を子どもたちに意識させる声かけ ・誰にでも気持ちのよいあいさつができるような声かけ ・家庭への早寝、早起き、朝ご飯の呼びかけ ・食事内容について	・年間3回の学校、園の参観を通して、それぞれの取り組みを子どもの姿を通して学び合うことができた。 ・各校や各園に持ち帰り、他の取り組みから学ぶことを広げることができた。 ・小中学校では「つむぐ」の活用を始めたことを知らせ、生活習慣づくりに活用してもらうことを呼びかけた。	○
	(2)メディアへのかかわりの現状理解とつきあい方の工夫 ・家庭への啓発活動 ・親子で本を通して向き合う時間の確保 (各園、各校の実態に応じて)	・「五中区だより」を発行し、保護者や地域の皆様にメディアコントロールや子どもの基本的な生活習慣づくりについて啓発することができた。 ・小中学校では「つむぐ」を活用し、これをコントロールのための方策の一つとして活用してもらうことを呼びかけた。	○
	(3)特別な支援の必要な子ども理解 ・園児、児童、生徒の情報交換	・各園、学校の子どもの姿から研修を深めた。話し合いからは園児児童生徒理解や、実態に応じた指導・支援の具体などについて情報交換をした。情報の共有と共通理解を図ることができた。	○
	(4)連携・交流事業の充実 ・スタートカリキュラムの実施(小学校) ・小6年生の中学校文化祭見学や説明会への参加等の取り組みによる中1ギャップの解消 ・保小連携による小1プロブレムの解消 ・保中交流	・スムーズな接続のための取り組みができた。教員同士の理解も深まった。 ・子ども同士のかかわりでは、年長者が年少者を思いやる姿が見られている。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月15日(水)	神科小学校	・授業参観 ・各園・各校の実情と今年度の取組 ・本年度の活動の方針決定・年間計画・情報交換
2	7月2日(火)	真田中央公民館	市校長会と同時開催 ・「五中区だより」の内容検討
3	10月18日(金)	あゆみ保育園	・保育参観 ・各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・特別な支援が必要な園児・児童・生徒について
4	2月13日(木)	神科第一保育園	・保育参観 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

令和元年度ブロック内の取組について

調査 1

1 概要

ブロック名		塩田中学校区		構成園校	塩田中、中塩田小、塩田西小、東塩田小、上田女短附属幼、塩田中央保、塩田北保、西塩田保、東塩田保、おひさまクラブ幼	
役員	元年度	会長	東塩田小学校長	水出 一寛	副会長	塩田中学校長 城田 真裕
	2年度	会長	未定		副会長	未定

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施 (2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 (3) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換	以下の取組の成果の通り	
取組	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施	○夏休み中に、小学校職員が保育園に出向き、園生活を体験させていただいた。園児の様子を知ることができ、小学校のスタートカリキュラムに活かすことができた。 ○各小学校と各園の職員間のつながりが密になった。 ○市費の小中連携職員のおかげで、中学校の教員が小学校へ出向いて授業が実施でき、小学生の様子をつかむことができた。小学生も中学校への意識を高めることができた。	○
	(2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 ①7月2日 園長・校長合同会議で情報交換と今後の計画立案 ②11月26日 おひさまクラブ幼稚園の参観と情報交換 ③1月20日 中塩田小学校の参観と情報交換 ④夏休み～2月 幼稚園・保育園へ小学校職員の参観 ⑤9月～2月 来入児で支援を要する園児の保護者との懇談や園児の体験入学 ⑥年間を通して小中での情報交換	○おひさまクラブ幼稚園では、園児の主体性育む保育活動の中で、夢中になって遊び込む姿を見せていただいた。各校園の環境を活かしていくことの必要性を確認。 ○支援の必要な園児や児童の相談時間をとることで有意義な情報交換ができた。 ○小学校担当職員や校長・教頭が園を訪問し、園児の様子を参観して懇談することで必要な情報を得ることができた。	○
	(3) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換 ①小学校教職員の園参観と体験 ②中学校生徒の幼保での職業体験	○5月に幼保職員と小学校1年担任との情報交換を行い、本年度の活動の見通しをもつことができた。 ○小学校の教職員が幼保の園児の実態を肌で感じることができ、幼保小の連携の実効性が高まった。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月2日	真田中央公民館	①本年度の年間計画の確認 ②園長・校長による情報交換
2	11月26日	おひさまクラブ幼稚園	①保育と施設の参観をしての意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携の必要性と今後の予定 ④キャリア教育の取組について情報交換
3	1月20日	中塩田小学校	①授業と施設の参観をしての意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携上の課題の確認と改善方法の検討 ④来年度に向けてのキャリア教育について意見交換

1 概要

ブロック名		第六中学校区		構成園校	第六中/川辺小/川西小/浦里小/日向幼稚園/川辺保/泉田保/浦里保/室賀保	
役員	元年度	会長	室賀保育園長		副会長	
	2年度	会長	第六中学校長		副会長	

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)あいさつ、返事、靴揃えのできる子どもを育てる。 (2)生活リズムや決まりよい生活習慣を身につけさせる。 (3)互いの園・校の情報交換交流活動が円滑になるように工夫し、園児、児童生徒の個の支援につながるようにする。	・あいさつ、生活リズム(メディアコントロール)をPTA活動の取り組みと位置付けて実施してみた。	○
取組	1、幼保小中、それぞれの場での課題や悩みなどについて情報交換をし、参観等を通して具体的な取り組みについて共通理解をする。	・忙しい中にも各現場にうかがわせていただき、子どもたちの姿にふれることができ、自分の園にもどって職員に伝えながら、参考にさせていただくことが多かった。 ・幼保小中で共通の課題がわかってよかった。 ・川西小と浦里保育園・川辺保育園の交流会は、とても参考になった。 ・異校種の様子を理解できてありがたかった。	○
	2、個別支援が必要な子、家庭支援が必要な子への援助や連携のあり方について (1)参観や移行支援会議等を通して子どもの実態を把握し幼保小中の具体的な取り組みや支援方法について検討し共通理解をする。 (2)保護者理解を得るために、個別参観を行い具体例を挙げた情報交換をし、保護者の支援や対応について検討する。	・園や学校での参観や意見交換を通して、子どもたちや家庭が抱えている様々な課題を共有した。 ・学校での対応を知り、安心できた。	○
	3、職員の交流 (1)職員が、保育園や小学校へ行って学校生活や保育体験をする中でお互いの職場の現状を理解し合う。 (2)発達段階の違いを、子どもの活動の実体験から学び合う。 ・就学前担当者が各園を訪問し、子どもの活動の様子や支援について情報を共有することで、入学に向けた準備ができる。	・担当職員が園の訪問をさせていただきありがたかった。 ・より多くの職員が交流できる機会があってもよいと思う。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	8月27日	川西小学校	・授業と施設のを参観をしての意見・感想 ・川西小学校の現状と課題について ・園児、児童生徒が抱える問題について ・保護者対応について
2	11月19日	浦里保育園	・授業と施設のを参観をしての意見・感想 ・浦里保育園の現状と課題について ・幼保小中の接続について 幼保小中の交流及び支援が必要な児童に対する情報の引き継ぎについて
3	1月17日	川辺保育園	・保育参観と保育園の現状と課題について ・園児・児童生徒が抱える問題について ・反省と来年度の要望 ・来入児の情報交換と配慮を要する児童の情報交換

令和元年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名	丸子中学校区	構成園校	丸子中、丸子中央小、西内小、西望幼、(わかくさ幼) 中丸子保、東内保、西内保、みなみ保		
役員	令和元年度	会長	西内小学校 校長	副会長	丸子中央小学校 校長
	2年度	会長	丸子中央小学 校長	副会長	丸子中学 校長

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2) 園・校内や家庭内での基本的な生活習慣の確立を図る。 (3) 発達障害のある園児児童生徒の情報共有を行い、よりよい支援方法を探り、接続について連携を図る。	○喫緊の課題として共通理解が持て、園児・児童・生徒の様子や生育歴・環境等から、その対応について話し合う事ができた。 ○計画通り3回の会合が持てた。	○
取組	(1) 共通目標(1)について ①東内保育園児の活動参観から、発達段階における状況や課題を把握する。 ②園から小学校、小学校から中学校への繋がりにおける課題や対応策を検討する。(1回目の園・2回目の小・3回目の中を通して) ③夏休み中に園へ小学校の職員が出向き、参観・体験・情報交換する。	○幼保小中における園や学校課題の共通理解が持てた。 ○幼保小中における園児・児童・生徒の発達段階的な様子や課題を連続して把握し、記録を生かしていきたい。 ○自治センターの市民サービス課との連携ができた。今後も続けたい。	○
	(2) 共通目標(2)について ①幼保小中が連携して「基本的な生活習慣の大切さ」や「家庭生活のあり方」のプリント内容を更に検討し、作成する。 ②夏休み前に上記プリントを配布して、保護者へ啓発を行う。 ③「早寝、早起き、朝ご飯」の継続した呼び掛け。 ④来入児保護者会で、家庭生活のリズムの整えや基本的な生活ができるように依頼する。 ⑤「メディアコントロールの大切さ」について、保護者への啓発を行う。	○喫緊の課題を話し合う中で、「メディアコントロール」について呼びかけをしていく事になった。 ・毎年7月に配布している「ぐんぐん丸子っ子」に【スイッチオフで豊かな生活！】と題し、ルール作りの大切さを呼びかけた。 ・11月には、幼保小中連携して、メディアコントロール週間を実施した。	◎
	(3) 共通目標(3)について ①丸子中学校区の各園・学校の発達障害状況と対応策についての理解を図る。 ②会合の度に指導主事先生や保健師さんにも同席していただき、発達障害の相談窓口等の指導をいただく。 ③支援が必要な児童や家庭について具体的な内容を話し合い、各園・校で参考にする。	○各園・各学校とも発達障がいと思われる子どもたちの増加状況と対応策についての理解を図る事ができた。 ○参観から発達障がいの理解を深め、指導の継続性の大切さを協議できた。 ○子どもへの支援や配慮について具体的に学ぶ事ができた。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月29日 (月)	東内 保育園	・東内保育園の活動参観 ・発達障害のある子どもや家庭への支援について ・新入生を迎えるに当たっての幼保小の連携について ・来入児の名簿の確認 ・「ぐんぐん丸っこ」の内容の検討 ・今後の予定
2	10月3日 (木)	西内 小学校	・西内小学校 全学年の授業参観 ・学校職員の園訪問について ・アプローチ、スタートカリキュラムの検討 ・メディアコントロール週間の実施について
3	1月21日 (火)	丸子 中学校	・丸子中学校全学年の授業参観と特別支援学級の授業参観 ・中学に発達障害のある児童の受け入れやその支援について ・幼保小中を通しての連携について ・本年度の反省と課題、次年度への希望と予定

令和元年度ブロック内の取組について

調査 1

1 概要

ブロック名	丸子北中区	構成園校	丸子北中・塩川小・丸子北小・依田保・長瀬保・塩川保・ちぐさ幼		
役員	令和元年度	会長	塩川小学校 佐藤 俊彦	副会長	ちぐさ幼稚園 市川 みどり
	令和2年度	会長	丸子北中学校	副会長	長瀬保育園

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「思いやり」の芽を大事に育てよう (2)何事も「自分でする」気持ちを持たせよう (3)発達段階に応じて、学習する習慣を身につけさせよう (4)心と心を伝え合う「挨拶」(交わり)を広げよう ※子どもの成長や学びの発達段階に即した指導の接続と連携をもとにして	以下の通り	
取組	(1)地域あいさつ運動等の展開 ①あいさつ運動の継続(月1回の実施) ②保護者向け幼保小中連携会議だよりの発行(10月)	・丸子地区青少年ネットワーク会議の共通理解に基づく「あいさつ運動」を展開している。毎月、第3月曜日が啓発の日であり、小中学校の児童会・生徒会役員や地域の方(分館長さん等)が学校玄関や通学路に立ち、あいさつ運動を展開している。各校児童会・生徒会が主体となり実施している。 ・丸子北中学校区 幼保小中連携会議だよりの発行を各園・学校で保護者へ配布した。	○
	(2)子どもの成長や学びの発達段階に即した指導の接続と連携	・連携会議を各校園で実施し、保育・授業参観を通して園児・児童・生徒理解を図ると共に、その学びの姿から指導の接続や連携のあり方を学び合う。 ・連携会議毎に、後半の時間を使い各校園の連携の状況や児童と園児の交流について情報交換を行う。(詳細は、各校の連絡会にて係が実施)	○
	(3)小中連携の取り組み ①中学校説明会及び体験授業 ②中学校の先生による、出前の授業	・中学校生活の説明を受け、実際に教室で授業を体験することで、中学校入学に向けての自覚と意欲を養う ・中学校の先生が小学校に来校して授業を行う。わかりやすい授業体験を通して、中学校での学習への期待感をもたせている。	○
	(4)学習指導要領における教科学習を通して交流の実感を持たせるため、小学校区ごとの園・小・中による取り組み	・幼保小・小中においては参加体験型学習を小学校・中学校において実施。新規入学予定学年が、スムーズな校種移行ができるように学習内容・展開を工夫した。 ・中学校の家庭科保育学習単元、総合的な学習におけるキャリア教育で職場体験学習として保育園を働く場として提供いただいた。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	R1.7.2	真田中央公民館	・前年度の反省と今年度の重点の確認 ・年間計画の作成
2	R1.8.26	塩川小学校	・授業参観 ・会場校の概要やグランドデザイン、現状と課題についての発表・授業参観を通して学び合う。 ・丸子北中学校区の幼保小中の連携についての協議 ・「丸子北中学校区幼保小連絡協議会だよりの検討
3	R1.10.18	丸子北中学校	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・家庭でのスマホやインターネット利用の問題点についての協議
4	R2.2.14	長瀬保育園	・保育参観 ・会場園の概要や保育の全体像、現状と課題についての発表・保育参観を通して学び合う。 ・本年度の反省と来年度の課題。来年度も引き続き実施したいことなど。 ・来年度のブロック会議年間計画及び会場園・校、役員の輪番の確認。 ・来年度の行事(運動会等)の日程の打ち合わせを行う。

令和元年度ブロック内の取組について

調査 1

1 概要

ブロック名		真田中・菅平中学校区		構成園校	真田中 / 本原小 / 長小 / 菅平小中 / 傍陽小 さなだ保 / いずみ幼 / すがだいら保 / そえひ保	
役員	元年度	会長	いずみ幼稚園長 松沢 かよ		副会長	真田中学校長 塚田 秀
	2年度	会長	真田中学校長 塚田 秀		副会長	すがだいら保育園長 中沢 衣江

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	「みんなで育てよう真田っ子を」 ～キャリア教育＝自己肯定感や自己有用感を育み、 スムーズな入学を進めるための連携とそのあり方～	・幼保小中連携を、キャリア教育の視点から捉え、活動や交流を行うことが出来た。	◎
取組	① 各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムをもとに、幼保との連携の中で重点となる活動内容などの意見交換の実施 ② 各園・各校における学びの状況や子どもの姿に応じた支援・指導の連携についての情報交換 ③ 各園・各校における幼保小中の連携を更に深めるた	・各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムの計画を持ち寄り、幼保小中連携の中で、子ども達がスムーズに学校に慣れていくように考えることが出来た。 ・各園・各校での具体的な交流計画について情報交換したことで実施に結びつき、交流が深め	○
	① 子どもの学習や遊びの様子、活動場所等を参観し、懇談することを通して、研修を深める。 ② 小中学校の職員が校区の幼・保での体験実習をすることにより、幼保職員の具体的な支援に学ぶ。 ③ 幼保から小、小から中へ、配慮を要する子どもの支援のあり方について、情報交換を行う。	・それぞれの園や学校での情報交換により、子ども理解について研修が深まった。 ・体験学習から、中学校への抵抗感を薄め、進学への期待感を高めることが出来た。 ・来入児・児童・生徒の情報交換をすることにより、小1・中1ギャップの解消が図られている。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月2日	真田中央 公民館	・市校長会と同時開催 ・本年度の計画(小中学校区での学校職員・児童生徒の交流や保育士体験等の打ち合わせ。)
2	10月1日	真田中学校	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校でのアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムについて ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換
3	1月27日	そえひ保育 園	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望

令和元年度ブロック内の取組について

1 概要

ブロック名		依田窪南部中学校区	構成園校	武石小学校・依田窪南部中学校・武石保育園		
役員	令和元年度	会長	依田窪南部中学校長	副会長	武石保育園長	
	令和2年度	会長	武石小学校長	副会長	武石保育園長	

2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> 誰にも挨拶できる武石地域を目指す。 相手を思いやる心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園、小学校、中学校、共通で挨拶を大切に考え取り組んできている。自ら進んで挨拶する子、声をかけられたら素直に挨拶する子と個人差はやはりあるが、挨拶する子どもたちが確実に増えている。 交流や学習、共通体験の中で相手の立場を考え、相手を理解しようとする子どもが育っている。 	○
取組	(1) 保育園、小学校、中学校で挨拶運動を実施。 ①各校、園の実態に合わせて挨拶を進める取り組みを行う。 ②各校、園で「始まり、終わり」の挨拶をしっかり行うようにした。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣として、身につけられるよう大事に考えていく。 ボランティアで関わっていただいた方に、地域で会ったときに挨拶やお礼を言える子どもがいて、お褒めの言葉をいただくことができた。 	○
	(2) 中学校、小学校、園との交流 ①武石保育園研修 ・夏休みに小中教職員が1日保育園に行って、園児と過ごし、保小中の職員間で情報交換を行っている。 ②小中学校の交流 ・中学校の文化祭見学に6年生全員が参加し、小中合同で合唱を実施している。また、中学生から説明を聞く場を設けている。 ③保小の交流 ・小学校運動会、音楽会への年長組の参加。小学校のプールや遊具を体験。1年生が園に出向いての交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 保育園で実際に園児と関わらせていただくことで、子どもの発達段階を理解することができる。 各校、園との交流により、相手のことを考えて行動や接し方を学べた。 年長組が小学生との交流を楽しみ、小学校の入学に向けて期待を持ってもらえた。 小中ともに進学にあたっての不安を持っている子どもの対応を行うことができた。子ども・保護者に来校していただき、学校の様子を見てもらったり、相談したりできた。児童生徒が安心して進学できる環境をつくることができた。 	○
	(3) メディアコントロールデー実施 ・南部地区の学校でメディアコントロールデーを実施している。武石保育園でもメディアと接しない日などを決めて、保護者に連絡している。	<ul style="list-style-type: none"> 各校の様子を聞いて取り組みを進めている。 保育園での親子読書(週末の本の貸し出し)を参考に、来年度は、メディアコントロールの日に本を読むことを推奨するなど保護者とともに進めていきたい。 	○
	(4) 中学校説明会・部活動説明会の実施 ・小学校6年生対象の中学校説明会に参加することで、中学の様子を体験したり、中学校職員が小学校を訪問し、中学校生活についての話や中学入学に向けての学習についてアドバイスをもらう。小中のつながりを大切に考えていく。	<ul style="list-style-type: none"> 中学校入学に向けての不安が減り、期待を持つことができる。また、小学校生活の卒業に向けてどのように過ごしたらよいかを振り返る機会にもなっている。また、児童が安心して中学入学へできる準備ができた。 	◎

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月17日 11月8日 2月10日	依田窪南部中	○小中連絡会 ・6年生、新1年生の様子について ・中学校説明会について ・特別な支援を要する子どもの支援について
2	5月18日 1月17日	武石小	○保小連絡会 ・来入児、新1年生の様子について ・特別な支援を要する子どもの支援について
3	8月2日	武石保育園	○保小中連絡会及び保育園参観 ・保育園児と小中教職員の交流 ・保小中連携のあり方について

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第一中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
4月4日	入学式	神川小学校 東小学校 一中区各幼保園	保小	入学式に各園から入学に際してのメッセージをいただく。入学式で紹介すると共に、1年生の教室近くの廊下の壁に掲示する。
5月16日	神川ランド遊び	神川小学校 国分保育園	保小	国分保育園児が神川小学校外遊具スペース「神川ランド」で遊ぶ
5月22日	一中区小中学校 特別支援学級交流会	東小 神川小 第一中学校(特別支援学級)	小	一中に東小、神川小の特別支援学級児童と職員が来校し、2時間スカイホールで各校が企画したゲームをして楽しんだ。中学生が小学生の世話をしながら、楽しく交流する姿が見られた。来入生の姿を参観できたことで、貴重な情報収集の時間にもなった。
6月10日～13日	音楽会リハーサル見学	東小 東部保育園 聖マリア幼稚園 常田保育園	保小	音楽会の前日、各学年の最終リハーサルの見学をし、年長の子ども達に音楽会の雰囲気を味わってもらい、真剣に演奏に耳を傾け、小学生の演奏に良さを味わってもらい、次年度への意欲に繋がった。
7月17日～7月18日	一中職場体験	東小	小中	一中から5名の生徒が職場体験に参加した。授業の参観や、授業の手伝い、給食指導や清掃指導を担当と共に行い、学校という職場の雰囲気を味わうことができた。(1～5年生の各学級)
7月24日	小学校のプールで交流しよう	国分保育園年長児	保小	国分保育園児が2時休みの時間を利用して神川小学校プールで水遊びをした。
7月30日 8月2日5日20日	保 育 研 修	東小職員、神川小職員 東部保育園、常田保育園 甘露保育園、国分保育園 神川第二保育園	保小	小学校職員が保育研修を行い、園での生活の様子を体験するとともに、職員と懇談することで配慮点などについて研修することができた。
8月17日～21日	プール開放	東小 常田保育園 聖マリア幼稚園 東部保育園	保小	広いプールでのびのび遊び、学校のプールの雰囲気を味わいながら水遊びに自信が持てるようになった。
7月1日 7月23日	学校見学	いずみ園 国分保育園	保小	来入児童と保護者、園の先生が来校し、1年生と特別支援学級の教室を見学。
9月13日	保護者説明会	東小	幼保小	園児の保護者への説明会
8月28日	一中区不登校研修会	一中 東小 神川小	小中	事例発表を通してグループ討議を行い、情報交換を行った。

9月～10月	運動会参観	東小 神川小の 校長・教頭	小	東小 神川小の校長・教頭が保育園や幼稚園の運動会の様子を参観し、個別の対応が必要な子どもなどの様子を把握する。
9月27日	小6東小・神川小	文化祭招待	小 中	ステージ発表、展示発表見学 中学生のすごさや迫力を感じることができた。中学校での生活の様子が伝わり、進学への意欲につながった。
10月5日	運動会風車拾い	東小 各幼保入学児童	保 小	運動会当日、全校児童・保護者が見守る中、元気に風車を持って駆け抜けていた。
10月～2月	新入学児童体験授業	東小 来入児希望者	幼 保 小	特別支援学級に入級を希望する来入児に学級の様子を参観してもらったり、授業を体験してもらったりできるように考えた。1年生の授業の様子も希望により参観してもらい、入学後の見通しを持てるよう配慮した。
10月31日	生徒と園児の交流	一中 国分保育園	保 中	ハロウィンに合わせて国分保育園児が一中を訪れ、ダンスを披露するなどの交流活動を行った。
10月 11月 2月	保育園との交流	東小 東部保育園	幼 小	東小児童が東部保育園を訪問し、一緒にゲーム等を楽しんだ。徐々に慣れて、仲良くする姿が見られた。
9月 11月 1月	保護者説明会	東小 神川小	幼 保 小	園児の保護者へ小学校入学について説明会
11月22日	一中区人権同和研修	一中 東小 神川小	小 中	小中の事例をもとに協議したり、人権同和教育について情報交換することができた。
1月15日	特別支援学級半日体験	一中 東小 神川小	小 中	各小学校の特別支援学級の児童・保護者が中学校で体験学習。(児童は授業を中学校特別支援学級生徒と受ける。保護者は学校の話聞き、授業参観) 中学校での見通しが持て、安心感が生まれる。
1月20日	中学校説明会	一中 神川小 東小	小 中	中1による小6への学校紹介、体験授業、部活動見学 中学校への期待が一層膨らんでいた。
1月22日	特別支援学級説明	一中 東小、神川小(5年生、学級担任)	小 中	各小学校の5年生の特別支援学級の児童と保護者が中学校で体験学習。(児童は授業を中学校特別支援学級生徒と受ける。保護者は学校長の話聞き授業参観) 中学校での見通しが持て、安心感が生まれる。
1月30日	保護者説明会	東小	幼 保 小	園児の保護者への説明会
5月17日 1月17日	幼保小連絡会	東小 幼保	保 小	幼保小の職員が来入児について情報交換を行った。
5月16日 12月2日 2月21日	小中連絡会	一中 東小 神川小 職員	小 中	小中の職員が来年度一中に入学する生徒について情報交換を行った。
10月11日～30日	家庭科保育実習	一中 国分保育園	幼 保 小	中2の5学級が学級ごとに保育園へ行き、保育実習を行った。
1月～3月	移行支援会議	幼保小中職員	小 中	学校生活がスムーズにスタートできるように、職員・保護者・外部関係者で情報共有と支援のあり方について相談を行った。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第二中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	29 年 度 の 成 果 と 課 題	
5月14日(火) 7月10日(水) 11月6日(水) 2月14日(金)	授業参観・保育参観	南部保・塩尻小・ 清明小・二中	幼保	各園、各校の参観をすることで、実際の姿を見ることで、どのような取組がなされているのかわかった。自園でも、さらに活かす方法を考えていきたい。
			小	学習習慣として、何が大切なのか、日々どのように声をかけていくべきか、改めて考えた。
			中	どのような姿をめざして幼保小が連続していくべきか、中学校の生徒の姿から考えることができた。
6月1日(土) 10月5日(土)	各小学校運動会招待	各幼稚園・各保育園の年長園児 各小学校職員・児童	幼保	園児は運動会の参加をとっても楽しみにしており、思い出をたくさん話してくれてよかった。
			小	来入児種目に参加してもらうことで、気持ちとしても近づいた思いである。
6月17日(月)	中学校授業参観	塩尻小学校・清明小学校の 各6年生が二中へ	小	具体的な授業を見ることで、どのような力が求められているのか、具体的に考える機会となった。
			中	先輩として、何を伝えるべきか、日常的な取組が必要な事を考えさせられる機会となった。
9月27日(金)	二中祭見学	清明小学校、塩尻小学校の 各6年生が二中へ	小	しなの鉄道を使って二中に通う練習も兼ねて参加した。お互いに意見を交換できるような場になるよう、今後さらに工夫をしていきたい。
5月～2月	なかよし集会 交流会	・聖ミカエル保育園・梅花幼稚園・上田幼稚園の年長園児と清明小4,5年児童 ・塩尻保・秋和保の年長園児と塩尻小1年児童	幼保	交流会を行ったことで小学校での生活がイメージできた。園のときに一緒に生活していた1年生との交流は身近なものであり、小学校入学へ向けて期待へとつながった。
			小	1月の交流会では、1年生が自分たちで計画、運営することができた。2年生に向けて、1年間の学習を振り返ったり、新入生を受け入れる気持ちの準備をしたりする機会となった。
10月15日(火) 10月21日(月)	小学校音楽会 リハーサル見学	塩尻保育園・あそびの森あきわ (年長・職員) 塩尻小学校 (児童・職員)	保	実際に見て、聞くことにより、それぞれの園児が学ぶことが大きかった。
			小	お兄さん、お姉さんとして、張り切って発表する姿があった。凜とした姿が素晴らしく、来年に向けてよきイメージがもてる場となった。
1月27日(月)	中学校説明会・体験授業	塩尻小学校・清明小学校(6年) 二中	小	どのような力が求められているのか、具体的に理解することができた。実際に中学校の校舎で多くの刺激を受けることは中学校への見通しを持つ意味で、意義が大きいと感じる。
			中	さらに工夫して、小学生の皆さんに中学校の期待感を伝えられるようにしていきたい。中学生(1年)にとっては、先輩になる自覚を持つ機会となり、ありがたかった。

通年	小中連携による学力向上推進事業(中学校の教員による算数の授業支援)	算数 塩尻小、清明小6年各クラス (3学期は5年)	小	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での授業を体験することで、どのような力が求められているのか、その具体を授業を通して学ぶことができたことは大変よかった。 ・小中を通じた授業改善のあり方を考える機会となった。また、それぞれの職員がそのような配慮をして授業づくりをしているのか、学び合うことができた。
			中	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の実際の様子を知ることができ、学級編制にも参考にすることができた。 ・学習作法については、小中で連携し、さらに統一できるようにしていきたい。小中の差があるほど、中1ギャップに躓くことになる。次年度はそのことを念頭に確認していきたい。 ・生徒会と児童会の交流も今後深めたいという希望が職員から出ている。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第三中学校区				
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	と	成 果
6月17日 1月27日	小学生の中学校での授業体験(参観・体験)	・三中職員と北小6年 ・三中職員と西小6年	小		授業体験を通し、中学校の授業(教科担任による)、中学校での生活に対する期待をもつことにつながっている。
			中		中学校の授業をはじめとする学校生活への期待がとても高い。中学校の職員は小学生の意欲に満ちた姿に刺激を受け、入学後大事に育てなければとの思いを強くすることにもつながっている。
9月2日	三中ブロック不登校対策委員会	三中、北小、西小職員	小		事例研究を通し、自校の「対策」の振り返りにつながる。いずれ三中進学の可能性が高い児童の、貴重な情報共有の場になっている。
			中		小中それぞれに事例を紹介し合い、児童生徒の状況や担任の悩みなどを共有することができている。受け入れる立場の中学校とすると、直接状況をうかがえる機会があることはたいへんありがたい。
9月27日	中学校文化祭への招待	三中と西小の6年	小		発表活動(意見発表会等)を通し、「中学生としてのあり方(思考の深さや広がり)、発表の態度等)」に対し、憧れの気持ちをもつことができた。
			中		小学校の6年生に、中学校の文化祭とはどのようなものかを感じてもらうことができた。短い時間の参加にはなってしまうが、有効な交流になっていると思われる。
11月6日	三中ブロック人権同和教育研修会	三中、北小、西小、たちばな幼、上田幼、甘露保、芙蓉保、かんぎおん保、北保	小		人権同和教育の考え方について、大切な「共有」の場となっている。
			中		小学校の人権同和教育の理解を深める貴重な機会となっている。その他にも、小学校の授業の雰囲気や、小学校の先生方の考え方に触れるといった意味でも大いに価値がある。中学校としても参考になっている。
5月17日	小中連絡会での授業参観	・三中と北小 ・三中と西小	小		卒業した子どもの様子や中学校の授業の実際を見ることができて有意義だった。
			中		恩師に成長した自分を見てもらえることが、中学生となった自分に対する自信につながっている。
7月～8月	園児による学校施設利用(北斗の広場・小プール)	芙蓉保育園	小		小学校の雰囲気を感じたり、小学校での生活に対する期待を高めるための一助となっているのではないか。
			幼保		小学校に対する不安を解消し、学校生活への期待感を高めることにつながっている。

8月～2月	職員による幼保参観	・各園と北小 ・各園と西小	小	特別な支援が必要と思われる児童に対する参観を行うことで、就学支援に役立てたり、合理的な配慮をしたりする上で の糧としている。
			幼保	年長児のクラスを参観してもらい、年長組担任と懇談をした。特に配慮を必要とする園児の様子や方法について伝達 することができた。
7月	中学生の保育体験実習	・三中2年 ・芙蓉保育園児	中	中学生が中学校では少し異なった姿を見ることがある。対象が園児であることや、環境がいつもと異なることがそ うさせている。生徒は取り組む価値を感じているようだ。
			保	中学生といっしょに遊んだり体を動かしたりすることをとても楽しんでた。よい交流になった。
9月	小学生による職場体験	北小 芙蓉保育園(6年4人) 甘露園 (6年3人)		

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第四中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
6月1日	来入児の運動会参加	南小学校 城下小学校 来入児在籍園	小	高学年児童が次年度に入学する1年生のことを思いながら道具を作ったり、当日実際に案内したりすることで、高学年としての責任感を感じたり、自分の成長を感じることができた。
			幼保	半年後の小学校入学への期待を持つことができた。
6月17日・18日 7月1日・2日	小学6年生の中学校体験授業	城下小 6/17、18 (特支6年生6/19、5年生12/13) 南小 7/1、2 (特支6年生6/26、5年生12/4)	小	中学校の先生の授業を体験し、中学校の授業へのイメージを持ち入学への期待感と心構えを持つことに役立った。
			中	小学生が学習に向かう様子を知ることができた。
7月1日	みのり保育園と児童会福祉委員会交流	南小学校 児童会福祉交流委員会 みのり保育園年長組	保	お兄さんお姉さんと一緒に遊ぶことを通して小学校とのギャップを少なくし、入学への期待感をもつことができた。
			小	年長さんに楽しんでもらえる交流会になるように計画したり実行することを通して、相手のことを考えて行動することの大切さを感じ取った。
7月23日～24日	保育園での職業体験学習	第四中学校2年生(希望者) 保育園	中	保育体験を通して、保育士の仕事の大変さとやりがいを知ることができ、職業選択の上で貴重な体験となった。
7月19日	みのり保育園児の小学校プール利用	みのり保育園年長組 南小学校	保	小学校のプールを利用することで学校の施設や雰囲気になれることができた。
7月22日	下之条保育園児の小学校プール利用	下之条保育園年長組 南小学校	保	小学校のプールを利用することで学校の施設や雰囲気になれることができた。
7月29日 7月30日	城下保育園児・三好町保育園児の小学校プール利用	城下保育園年長組 三好町保育園年長組 城下小学校	保	当日の気温・プールの水温が高く、危険性があるため、中止。
11月	中学2年生による保育実習	第四中学校2年生 三好町保育園	中	家庭科の授業で保育実習を行い、園児と触れ合うことにより保育について知ることができた。保育士の仕事や話から、保育について学ぶことができた。園児と接する中で自己有用感を得ることができた。
11月22日 12月20日	下之条保育園年長児 小学校体験・授業参観	下之条保育園年長組 南小学校	保	学校の施設やチャイムで動く様子を感じ取ることが出来た。一年生の授業を参観することで、入学への期待感をもつことができた。

12月3日	上田南幼稚園児 授業参観・交流会	城下小学校1年 12/3 南小学校1年 12/3 上田南幼稚園年長組	保	学校の施設やチャイムで動く様子を感じ取ることが出来た。 一年生の授業を参観することで、入学への期待感をもつことができた。
			小	南小学校に来てもらい、年長さんに伝わるように国語の学習などを発表した。また、体育館で一緒に遊んだりすることを通して、年長さんとの交流を一層深めることができた。
1月11日	みのり保育園年長児 授業参観・交流会	みのり保育園年長組 南小学校	保	学校の施設やチャイムで動く様子を感じ取ることが出来た。 一年生の授業を参観することで、入学への期待感をもつことができた。
1月17日	中学1年生による中学校説明 会	第四中学校1年生 南小学校6年生 城下小学校6年生	中	中学校生活の基本について、あらかじめ伝えることで、心の準備をしてもらうことができた。また、自分たちの一年間の学校生活の歩みを振り返ることができた。
			小	中学校生活について、中学校の先生・生徒から直接話を聞いたり、短時間体験させてもらうことで、入学への不安を少なくし、期待をもつことができた。
1月31日 →インフルエンザ流 行により中止	来入児1日入学	来年度入学予定者 城下小学校1年生	保	
			小	入学を予定している園児さんのことを考え、プレゼントを用意した。
2月6日	異校種での初任者の体験授 業	第四中学校初任者2名 南小学校6年生 城下小学校6年生	中	小学校での授業や諸活動を体験したことにより、小中の連携について、今後の指導の方向性を考えた。
			小	教科性の高い学習への関心を高めることができた。また、教わった先生と中学入学時に会うことで、ギャップがなくなる。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第五中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
春・秋・冬	お散歩しよう 一緒に遊ぼう	神科第一保・第二保 豊殿保 豊殿小・神科小	保 小学校の近くを通ったり敷地内に入ったりして、季節ごとにお散歩を楽しんだ。
			小 時間が合う時には、園児とともに児童も花や池を見に行ったり、一緒に花を摘んだり鬼ごっこをしたりして楽しい時間を過ごした。
4月～5月	スタートカリキュラム	神科第一保 神科小 豊殿保 豊殿小	保 週に1回～月に2回、園長・保育士が、1年生の登校支援を行った。また、園長・保育士が1年生の指導と生活の様子を参観し、その後情報交換をした。
			小 スタートカリキュラムに沿って、幼保のリズムから、小学校のリズムにつなげていく活動をすすめた。始業前、1年生昇降口で新1年生を保育園の先生が挨拶と出迎えをしていただいた。新1年生が新しい環境に安心感を持って適応することができた。
5月	保育園の先生による1年生の 授業参観と懇談会	豊殿小 神科小	小 小学生になった子どもの様子から具体的な意見交流ををするために、授業参観や懇談会を通して子どもたちの様子について情報交換している。
6月	第五中前歩道の花壇作り	あゆみ保 第五中3年生	保 はじめは戸惑いも見られたが、すぐに仲良くなり、年齢の離れたお兄さんお姉さんと楽しく活動できた。
			中 幼い子どもと触れ合う機会の少ない中学生にとって、自然な形で、保育園児に寄り添うよう気持ちが生まれた。
6月	小学校音楽会	豊殿保・にしおか・上田北幼 神科第一保・第二保 豊殿小・神科小	保 児童のすてきな歌声や合奏が聴くことができた。1年生の歌と合奏の発表を聴いた。
			小 来年度入学してくる保育園児に小学校の音楽会を見学してもらい学校の様子を知ってもらうことができた。
7月	中学校職場体験学習	神科第一・第二・あゆみ・ 豊殿保・にしおか 第五中	幼 保 園の職員と園児との関わりの様子を実際に教室に入って、園の仕事を体験してもらった。
			小 中 児童指導等、小学校教員を体験してもらった。体験を希望する職場で体験させていただき、将来の自分の進路について考える機会を与えていただいた。
7月～8月 (夏休み中)	保育園プールでの保育体験	豊殿保 豊殿小	保 園の職員と園児との関わりの様子を実際プール指導に関わってもらい、園の仕事を体験してもらった。
			小 保育園のプールで、園の先生方の指導を見せていただいたり、実際に園児と過ごす時間を体験することで、小学校入学前にどのような関わりをされていたかを知り、学ぶことができた。

9月	第五中前歩道の花壇	あゆみ保 第五中3年生	保	共に作った花壇の様子を見て花の生長を喜び合って、中学生と親しむことができた。
			中	春にふれあった子ども達と、関わり合って作った花壇の花が咲いている様子を見て、幼い子ども達を大切に思う気持ちをより強く感じることができた。
9月29日	中学校文化祭見学	豊殿小・神科小(6年) 第五中	小	第五中の鳳祭に6年生が参加し、教室展示やステージ発表を見学した。中学校生活の一端を見学し、来年からの中学校生活に関心と意欲をもつことができた。
			中	鳳祭の発表の様子を児童にも見てもらうことで、成長した姿を示し、先輩としての自信が持てた。
9月～10月	小学校運動会	豊殿保・神科第一保・第二保・ あゆみ保・北幼・にしおか他 豊殿小・神科小	幼保	来入児種目の風車拾いで運動会に参加する。楽しみながら風車を拾う姿が見られた。
			小	年長さんを運動会に招待して、来年度入学する園児を待つ気持ちや期待感を膨らめることができた。
11月	小1との交流	上田北幼・神科第一保・第二保 神科小(1年)	幼保	年長児が、1年生のとなりで国語や算数の授業を体験したり、一緒に工作をしたりすることを通して、入学への期待がふくらんだ。
			小	年長児を前に、自分たちは年上であるという自覚をもち、お兄さんお姉さんになるという期待感をもつことができた。
11月	年長児と5年生の交流会	神科第一保・第二保・上田北幼 豊殿保・にしおか 豊殿小・神科小	幼保	年長児と5年の交流で小学校の様子を教えてもらったり、学校内を案内してもらったり、絵本をよんでもらったりすることを通して小学校生活に親しみがもてた。
			小	来入児と5年生が交流する中で、思いやりの気持ちを持ったり、6年生になる自覚をもつことに繋がった。
1月	幼保小連絡会	豊殿保・神科第一保・第二保・ あゆみ保・北幼 にしおか他 豊殿小・神科小	小	幼保小連絡会で具体的に支援の必要な子どもの情報交換をおこなった。実際に小学校職員が幼保育園に出向き、子どもたちの様子を参観し、具体的な支援の方向を探った。
1月	中学生保育実習(家庭科)	神科第一保・神科第二保 第五中(2年生)	保	中学生と園児との保育活動を通して交流をさせていただいた。
			中	中学生が各園を訪問し、教職員の勤務や園児とのかかわりの様子等について体験を通して学習できた。
2月	年長児と5年生の交流	豊殿保・神科第一保・第二保 あゆみ保・北幼・にしおか他 豊殿小	幼保	小学校5年生とかかわる中で、小学校に希望を持って入学する気持ちをつくることにつながった。
			小	来入児と5年生が交流する中で、思いやりの気持ちを持ったり、6年生になる自覚をもつことに繋がった。

2月	中学校での体験授業 新入生説明会	神科小・豊殿小 第五中	小	中学校生活の様子(授業・先輩からの話・生徒発表)を見せていただいた。中学校進学にむけての心構えがもてた。
			中	6年生が中学校に来て、授業を体験し、不安を解消し入学を楽しみにしてもらおう。4月より入学してくる6年生に中学校生活について理解してもらうために、授業公開やルーム長会等による学校生活の説明会及び保護者説明会を行った。
2月	中学校教員の小学校参観	豊殿小・神科小(6年) 第五中(1学年)	小	中学校の先生方に小学校での様子を見ていただき、中学校進学に向かう取り組みについての情報交換ができた。
			中	小学校の授業や生活の様子、給食や清掃の取り組みの様子などを参観し、情報交換ができた。
3月	小学校へのアプローチカリキュラム	豊殿・神科第一第二・あゆみ ・上田北・にしおか 豊殿小・神科小	小	小学校入学を前にして不安を抱える子どもに、春休み等を利用して事前に来校してもらい環境に慣れてもらった。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	塩田中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
5月8日	塩田地区学校職員会総会 1学年会	東塩田小・中塩田小・塩田西小の1学年担任と塩田北保・塩田中央保・東塩田保・西塩田保・上田女短附属幼の年長組担任	小	小学校のスタートカリキュラムについての意見交換ができ、1年担任にとって有意義な時間になった。
			幼保	小学校入学後の様子を聞くことができ、年長までに育てる内容について考えを深めることができた。
6月1日	東塩田小運動会への招待 塩田西小運動会への招待	入学予定園児 小学校全校児童と担当係児童	小	来入児種目の補助活動を通して、上級生としての自覚をもつことができた。教職員は、園児の様子をつかむことができ、幼保小での情報交換に役立てることができた。
			幼保	来入児種目を楽しみ、学校長の話や上級生の姿を通して、入学への期待が膨らんだ。
夏期	塩田西小のプール開放	西塩田保育園児	保	広いプールで思い切り水遊びができ、小学校へのあこがれをもった。
7月27日～8月21日 2月3日	来入児のいる幼保への小学校職員 の参観と情報交換 (塩田西小)	西塩田保・塩田中央保・塩田北保・上田女短附属幼・おひさま幼・三好町保・上田南幼・塩田西小担当・特支コーディネーター	小	来入児の園での様子を具体的に参観し、特別な配慮が必要になる園児への支援や今後の支援の方向を共通理解することができた。
			幼保	来入児の様子を具体的にみていただき、来入児への理解と支援のあり方の共通理解が図れた。
7月26日	小学校職員の保育園での参観実習 (中塩田小)	中塩田小職員・塩田中央保・塩田北保園児	小	職員が参観だけでなくプール実習等をさせていただき、園児の実態や支援方法をつかむことができた。
8月6日	小学校職員の保育園での参観実習 (東塩田小)	東塩田小職員・東塩田保園児	小	職員が参観だけでなくプール実習や給食指導等の保育体験をさせていただき、園児の実態や支援方法をつかむことができた。
7月下旬～2月下旬	来入児のいる幼保への小学校職員 の参観と情報交換 (中塩田小)	塩田中央保・塩田北保・上田女短附属幼・上田南幼・他幼保・中塩田小担当	小	来入児の園での様子を具体的に参観し、特別な配慮が必要になる園児への支援や今後の支援の方向を共通理解することができた。事前相談の機会も早めにもつことができた。
			幼保	来入児の様子を具体的にみていただき、来入児への理解と支援のあり方の共通理解が図れた。
9月27日	塩田中文化祭の見学	東塩田小・中塩田小・塩田西小・6年児童	小	中学校の文化祭を見学し、卒業に向けての気持ちを新たにすると共に、中学入学への期待を高めることができた。

10月5日	中塩田小運動会への招待	入学予定園児 小学校全校児童と担当係児童	小	来入児種目の補助活動を通して、上級生としての自覚をもつことができた。 教職員は、園児の様子をつかむことができ、幼保小での情報交換に役立てることができた。
			幼保	来入児種目を楽しみ、学校長の話や上級生の姿を通して、入学への期待が膨らんだ。
10月16日	就学前健康診断・就学前検査 (中塩田小)	小学校入学予定園児	小	入学予定園児の検査中の様子や待機している時の様子を通して、園児の実態把握が深まった。
			幼保	健康診断を通して体の調子が保護者に理解され、健康な体で入学を迎えようとする意識を高めることができた。
10月19日	塩田西小音楽会への招待	入学予定園児 小学校全校児童	小	特に1年生は近くに入学予定園児がいることで、年上を意識して張り切って演奏に取り組んだ。
			保	保育園より迫力のある音楽会を目の当たりにして、小学校入学への期待を膨らめていた。
10月31日	塩田支会人権同和教育研修会	塩田地区小・中学校職員	小	東塩田小学校1・3・6年の授業を公開し、児童の様子や授業についての意見交換を行った。授業づくりの中で、人権同和教育のあり方を振り返ることができた。
			小中	実際に授業での児童の様子を参観し、助言者の指導をいただいて有意義な研修を行うことができた。
10月23日	就学前健康診断・就学前検査 (塩田西小)	小学校入学予定園児 塩田西小5年児童	小	入学予定園児の検査中の様子や待機している時の様子を通して、園児の実態把握が深まった。 5年児童は、園児を検査会場まで案内したり待機している時に関わったりして上級生としての自覚を高めることができた。
			幼保	健康診断を通して体の調子が保護者に理解され、健康な体で入学を迎えようとする意識を高めることができた。 園児にとっては、上級生が優しく関わってくれたおかげで、入学を楽しみする気持ちを高めることができた。
11月6日	来入児と1年児童との交流会 (東塩田小)	小学校入学予定園児 東塩田小1年児童	小	体育館でゲームをしたり教室でプレゼントを作ったりすることを通して、上級生になることが意識できた。
			幼保	1年生と仲良く遊んだり教室の様子を知ったりすることを通して、入学への不安を和らげ、期待感を高めることができた。
11月13日	就学前健康診断・就学前検査 (東塩田小)	小学校入学予定園児	小	入学予定園児の検査中の様子や待機している時の様子を通して、園児の実態把握が深まった。
			幼保	健康診断を通して体の調子が保護者に理解され、健康な体で入学を迎えようとする意識を高めることができた。 園児にとっては、小学校職員と関わることで、入学を楽しみする気持ちを高めることができた。
春・秋季	近隣小学校への散歩	塩田地区内の保育園	保	広い校庭や大きな遊具で遊んだり、小学生の屋外での活動を見学したりすることで、小学校を身近に感じていた。

12月10日	来入児と1年児童との交流会 (塩田西小)	入学予定西塩田保育園児 塩田西小1年児童 来入児係・特支コーディネ	小	入学までと入学後の支援の方向を確認することができた。 1年児童は、上級生になることが意識できた。
			保	1年生と仲良く遊んだり教室の様子を知ったりすることを通して、入学への不安を和らげ、期待感を高めることができた。
1～2月中	来入児と1年児童との交流会 (中塩田小)	小学校入学予定園児 中塩田小1年児童	小	学校案内・小学校の生活の紹介・紙コップや剣玉のプレゼント等を通して、上級生になることが意識できた。
			幼保	1年生と仲良く遊んだり学校の様子を知ったりすることを通して、入学への不安を和らげ、期待感を高めることができた。
1～2月中	来入児移行支援会議 (各小学校)	小学校担当職員 特支コーディネ 入学予定園児・保護者 上田市関係職員	小	関係者が一堂に会し、入学予定園児にとってより望ましい学校や家庭での生活のあり方を探ることができた。
1月24日	中学校体験授業	東塩田小・中塩田小・塩田西小 の6年児童 学区外の入学予定児童	小	中学校職員による授業を体験し、中学校の授業への不安を軽減し中学校生活への期待を膨らめることができた。
			中	6年児童の様子を把握することができ、学級編制に活かすことができた。また、保護者にはネットリテラシーに関する講演を聴いていただくことができた。
2月中	小学校担当職員による幼保への参観(東塩田小)	東塩田小学校担当職員 東塩田保育園担当職員 上田女短担当職員	小	入学予定園児の様子を参観し、学級編制や入学後の指導方針の資料づくりの参考にできた。
1～3月の 複数回	中学進学に向けて移行支援会議	各小学校関係職員 中学校関係職員	小	中学校進学に向けて配慮の必要な児童について、丁寧な引き継ぎができた。
			中	入学後の支援の方向について確認することができた。
年間を通して	盈進池やヤギ小屋周辺の散歩 (中塩田小)	塩田北保・塩田中央保育園児	保	遠足や散歩等で立ち寄り、自然を満喫することができた。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第六中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
5月	幼保小連絡会	各幼稚園、保育園小学校(1年生)	幼保	・授業参観をし、入学後の現状を把握したうえで、1年生の担任と話し合うことができ、情報の共有と入学前に取り組むべき内容の把握ができた。
			小	・授業参観、就学前年間計画の説明、児童についての懇談 ・本年度入学児童への理解を深める
5月	小中連絡会	各小学校、第六中学校	小中	・中学1年生の授業参観。入学生徒についての懇談 ・入学生についての理解を深める
6月	音楽会参加	浦里保育園(年長児) 浦里小学校(全校)	保	・小学校の音楽会の雰囲気を知り、卒園児や兄弟関係のお兄さんお姉さんが発表するところを真近に見ることができ、楽しめた。同時に、小学校という場を見たり感じたりし、小学校に慣れる良い機会になった。
6月・10月	運動会参加	各園の入学予定年長児 各小学校	幼保	・風車拾いで運動会に参加する。楽しみながら風車を拾う姿が見られた。
			小	・来年度入学してくる年長さんを運動会に招待して、風車拾いに来ていただいた。来年度入学する期待感を膨らませることができた。
7月～8月	小学校に入学する地区・近隣園への職員参観と情報交換	各小学校	幼保	・年長児の様子を具体的に見ていただき、幼児への理解と支援のあり方の共通理解が図れた。
			小	・入学予定園児の園での様子を具体的に参観し、困り感のある園児への支援や今後の支援の方向を共通理解することができた。
7月	なつまつり交流会	浦里保育園(年長児) 浦里小学校(1年生)	保	・1年生が来園することで、小学校を身近に感じ期待を持って活動することができた。
7月	なつまつり交流会	浦里保育園(年長児) 浦里小学校(1年生)	小	・保育園の夏祭りの後、1年生年長児と交流を深められた。
7月11日	児童と園児の交流会	川辺保育園(年長児) 川辺小学校(4年2組)	保	・川辺小学校の体育館でゲームをして交流会をした。初めての経験で緊張気味の子もいたが、次第に慣れて楽しむことができた。
7月23・24日	職場体験	第六中学校・各幼保育園	中	・自分の将来を考えるきっかけとして、事前打ち合わせの後クラスに入る。1日目はコミュニケーションもちづらかった子も 2日目は積極的に園児に話しかけ交流を持つことにつながった。
			幼保	・中学2年生がそれぞれの思いを持って、幼保園の職場体験をすることにより、現場の大変さや喜びを直に学ぶ事が出来たと思う。

8月8日	野球部との交流	第六中学校(野球部) 泉田保育園(年長児)	保	・園児も野球に親しむことができ、野球部のみなさんとの交流を十分楽しむことができた。
8月上旬	部活動見学	第六中・各小学校	小 中	・夏休み中に部活動を参観し、入学後の選択の参考になった。
9月27・28日	文化祭見学	第六中・各小学校	小 中	・中学校の学習活動等の様子を理解することができた。
10月	保育園実習 1.2.29.30.31日	第六中学校(2年生全クラス) 泉田保育園	中	・中学生が保育園へ出掛け幼児と一緒に過ごす。普段関わる事の少ない幼児との接し方など不安は多いが関わることで気持ちが穏やかになり、中学生にとって良い経験となった。
			保	・毎年交流をしているが、今年度は文化祭の時に歌った合唱を披露してくれ、より交流が深まった。
10月31日	児童と園児の交流会	川辺保育園(年長児) 川辺小学校(4年2組)	保	・保育園のリズム室にて交流をしたので、園児たちも落ち着いて参加できた。また2回目ということもあり、比較的リラックスしてゲームに参加していた。
12月9日	児童と園児の交流会	川辺保育園(年長児) 川辺小学校(4年3組)	保	・小学校にて実施。お祭りをして楽しむ。3回目となると児童に対する親しみが増し、良い交流会となった。
1月～3月	移行支援会議:学校見学	小6の配慮の必要な児童		・配慮を要する児童の支援会議を行い、入学後の支援の方向を検討した。 ・見学を繰り返すことで、不安を軽減できた。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
通年	中学校の先生による数学の授業	丸子中学校 丸子中央小学校 西内小学校	中	次年度入学する6年生についての情報を得ることができた。
			小	算数ではない数学を教わることにより教科性の高い学習への関心を高めることができた。また、教わった先生と中学入学時に出会うことで、ギャップがなくなる。
4月～2月	青少年ネットワーク会議	丸子中央小・西内小・丸子中・丸子修学館高	小中	小中高の児童会生徒会の役員が、年に4回の会合を行い交流する。国道254号線や、小学校にて、あいさつ運動と交通安全の呼びかけを行う。今年度は挨拶運動に加えゴミ拾いや、地域への啓発ポスターづくりを実施した。他との交流を通して、自分たちの生徒会・児童会活動について振り返ったり、新しいアイディアを取り入れたりすることができた。地域の中心になって、活動する自覚とリーダーとしての意識を育てた。
7～8月	プール開放	中丸子・東内・みなみ・わかくさ・西内の各幼保園児と小学生	幼保	小学校をより身近に感じ、施設の使い方にも慣れることができた。
			小	夏期休業中、行間休みにプールを開放した。園児に挨拶をしたり、自分も園時代にプールを利用したことを思い出したりすることで、交流できたとともに、自分の成長を感じることができた。
8月	職員研修(小→幼保)	丸子中央小・学区内各園 西内小・西内保育園	小	幼稚園・保育園の現場を体験して、子どもへの理解が深まった。園児への支援や子どもの成長段階を実際に見たことが、小学校での児童支援を考えることにつながった。
9月	中学生の幼稚園訪問	わかくさ幼稚園・丸子中学校	中	家庭科の保育の授業の一環として、中学2年生がクラスごと1回訪問し、幼児と遊んだ。幼児の特徴を知り、関わり方を学ぶことができた。
9月	小学生の文化祭見学	丸子中央小・西内小6年生・丸子中学校	小	中学校の文化祭を見学することを通して、中学校生活の様子を知るとともに、入学への期待を持つ。
9月	運動会での交流	丸子中央小・学区内各園の来入児 西内小・西内保育園の来入児	幼保	楽しみながら風車を拾うことができた。学校行事に参加し、小学校へ入学する意識が高まった。
10月・1月	来入児と5年生との交流	丸子中央小入学予定来入児・丸子中央小5年	幼保	5年生と一緒に遊んだり学校を知ることを通して、入学への期待を膨らめることができた。
			小	学校探検や工作、絵本を読むなど園児との交流を通して、思いやりの気持ちを持ち、6年生になる自覚を持つことにつながった。

11月	中学校体験授業 (6年生が中学校で)	西内小・丸子中央小・丸子中	小	中学校で授業を受けたり、中学校生活の様子の話を聞いたりすることを通して、入学への期待や準備に向けた意識を持つ。教科の専門性を知る。
			中	児童の様子をもとに、今後の入学に向けた準備に生かす。
11月	幼保小中合同 メディアコントロール週間	丸子中、丸子中央小、西内小、 西望幼、(わかくさ幼) 中丸子保、東内保、西内保、 みなみ保	幼保	メディアコントロールのたいせつさについて、保護者への啓発を行い、各家庭でルール作りに取り組んでもらう。中学校のテスト週間に合わせて、幼保小中全部で行うことで、取り組みやすくなった。
			小中	「つむぐ」を活用して、メディアに接する時間を短くしたり、メディアとの関りを意識した生活に心がけた。
12月	遊びの交流(年長児と1年生)	西内小・西内保育園年長児	保	小学校をより身近に感じ、ともに陶芸製作を楽しむことで、入学への期待を高める。
			小	年長児と1年生がともにカルタ遊びをすることで、顔見知りになり、次年度入学後にスムーズな関わりが期待できる。
12月	音楽会への招待	西内小・西内保育園	保	小学校をより身近に感じ、ともに音楽を楽しむ。
1月・2月	そり遊び交流 (園児と1・2年生で)	西内小・西内保育園	保	小学生とともにそり遊びを楽しむことで、交流を深め小学校を身近に感じる。
			小	西内保育園で、保育園児と一緒に遊んだ。
2月	通常学級・特別支援学級授業 参観	西望幼稚園年長児	幼	小学校での学習の様子を参観し、入学後の生活のイメージを持たせる。
2月	中学校の特別支援学級授業 参観	丸子中央小学校 特別支援学 級在籍児童	小	中学校での特別支援学級での学習の様子を知り、1年後の卒業進学にむけて、イメージを持たせる。
2月	幼保小中合同 メディアコントロール週間 (第2回)	丸子中、丸子中央小、西内小、 西望幼、(わかくさ幼) 中丸子保、東内保、西内保、 みなみ保	幼保	メディアコントロールのたいせつさについて、保護者への啓発を行い、各家庭でルール作りに取り組んでもらう。中学校のテスト週間に合わせて、幼保小中全部で行うことで、取り組みやすくなった。
			小中	「つむぐ」を活用して、メディアに接する時間を短くしたり、メディアとの関りを意識した生活に心がける。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子北中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
毎月第3月曜日	地域あいさつデー	丸子北小・塩川小 丸子北中	小	中学生代表との玄関でのあいさつ活動を通してあいさつの大切さを学んだ。
			中	小学生へのあいさつ活動を通して、先輩としての自覚が生まれると共に、あいさつを広げ地域に目を向けることができた。
通年	交流会、小給食準備参観、授業参観、音楽会参観、運動会参加	塩川小(1・5年) 塩川保育園・ちぐさ幼稚園(年長) 塩川小(全職員)	小	保育園の子どもたちに見てもらうことで小学生としての自覚が生まれると共に、次年度に向けた新6年生と新1年生との関係づくりへの機会となった。
			幼保	小学校へ入学し成長した姿を見ることで目標が生まれよい刺激になると共に、顔見知りの6年生がいることで安心して入学する気持ちが生まれた。
通年	交流会、小給食準備参観、授業参観、音楽会参観、運動会事前交流・運動会参加	丸子北小5年 長瀬保育園 依田保育園	小	園児との交流内容を考えることにより、自主性と創造性と培い、当日は園児との接し方を学んだ。
			保	小学生とのふれあいを楽しんだ。
5月/9月	家庭科「ふれあい保育実習」	依田保育園 長瀬保育園	保	中学生と遊んだり、触れ合ったりすることにより、人と関わり合うことの楽しさを味わうことができた。
		丸子北中(2年全)	中	園児との触れ合いを通し、心身の発達に応じた生活の仕方を理解し、幼い子どもに対する関心を深めることができた。
6月	音楽会練習見学	長瀬保育園・依田保育園 丸子北小	保	小学校の音楽会の様子が分かり小学校への期待がふくらんだ。
			小	小学校一年生が園児の前で発表することで自信をもつことができた。
7月4日	特別支援学級交流会	丸子北小特別支援学級 塩川小特別支援学級 丸子北中特別支援学級	小中	体育館での交流会を通して、小学生と中学生がお互いに助け合いながら、ふれあい、学習を進めることができた。
7月	職場体験学習	依田・長瀬・塩川保育園	保	中学生と遊んだり、触れ合ったりすることにより、関わり合うことの楽しさを味わえた。
		ちぐさ幼稚園	幼	中学生と遊んだり、触れ合ったりすることにより、関わり合うことの楽しさを味わえた。
		塩川小	小	保育士の仕事を体験する中で、園児と触れ合いを深めたり、園児の対応の大変さを知り、保育士の仕事内容の一端を知ったりすることができた。
		丸子北中	中	生徒が自分の関わる園児を決め、その触れ合いを深める中で、園児の対応の大変さや保育士の仕事内容の一端を知ることができた。

8月2日	保育参観・体験	塩川小 塩川保育園・ちぐさ幼稚園	小	子ども理解と幼年教育を体験を通して学ぶことができた。保育士の園児への実際の支援のあり方を小学校職員が学ぶことにより、小学生への支援の見返しを行うことができた。発達障がいのある子どもへの指導に参考になる点が多かった。
			幼保	小学校の先生方の指導に学ぶ。将来の姿を想定し、今の実践を振り返ることができた。
7～8月	プール使用	長瀬保育園(丸子北小) 依田保育園(")	保	小学校のプールで遊び、楽しむことができた。
			小	児童との交流はないが担当職員が園児の様子を観察できた。
7～8月	プール使用	塩川保育園(塩川小) ちぐさ幼稚園(塩川小)	幼保	小学校のプールを借りて水遊びを楽しむことができた。広く大きなプールで子どもたちは自信をつけ、大きく成長することができた。
7月26日・29日	保育参観・体験	丸子北小(全職員)	小	子ども理解と幼年教育を体験を通して学ぶことができた。保育士の園児への実際の支援のあり方を小学校職員が学ぶことにより、小学生への支援の見返しを行うことができた。発達障がいのある子どもへの指導に参考になる点が多かった。
		長瀬保育園・依田保育園	保	保育参観を通して、日々の指導の振り返りができた。
9月30日	運動会練習参加	長瀬・依田保育園 等	保	運動会来入児種目を事前に練習し当日に備えた。
			幼	
9月27日 9月28日	秋桜祭招待	丸子北小、塩川小(保護者同伴 で休日参加)	小	中学校の文化祭を見学することを通して、中学校入学への不安を解消し、中学生になる意欲を高めることができた。
		丸子北中	中	自分たちの活動や展示を小学生に見てもらうことにより、来年度入学してくる下級生に対しての親近感と先輩としての自覚が持てた。
1月18日	中学校体験入学	丸子北中 丸子北小6年生 塩川小6年生	小 中	算数、理科、英語の授業体験を通して中学校への見通しを持つことができた。また各部活動の見学をし、部活選択の参考とした。
2月～3月	出前授業	丸子北中 丸子北小6年生 塩川小6年生	小 中	中学校職員が、小学校へ出向き、数学と英語の授業を実施した。中学校としては、6年児童の実態を把握でき、6年児童にとっては、中学校の授業を体験し、進学に向けての心構えができた。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	菅平中・真田中区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
5月15日	小中学校職員会	長小・傍陽小・本原小 真田中・菅平小中	小中 ・各学年会、部会、委員会に分かれ、真田地区児童生徒の健全育成を目指して、情報交換や指導改善に向けた話し合いを行った。
6月 7月 10月	学芸会・交流会 音楽会・夏まつり	すがだいら保年長年中及び全園児 そえひ保年長児・いずみ幼年長児	幼保 ・小学生に保育園に来園してもらい、音楽会の発表をして学校の様子を教えてもらったり、運動やゲーム遊びなどの活動をしたりして交流をした。園児の小学校への期待が持てた。 ・小学校の音楽会に年長児を中心に園児達が招待され、小学校の音楽を鑑賞した。小学校入学への期待を高めることができた。
		菅平小・傍陽小	小 ・小学校での音楽学習の学びの成果を3月まで生活した保育園で発表する機会をもらい、小学1年生がはりきって音楽に取り組むことができた。 ・1年生と児童クラブの小学生がそえひ保育園のお祭りに招待いただき、園児と交流しながら活動を楽しむことができた。
6月 9月 10月	運動会	すがだいら保・さなだ保 そえひ保・いずみ幼・他園 来入児	幼保 ・来入児(年長)が小学校の運動会の様子を見るとともに来入児種目に参加して、学校の行事の雰囲気を経験し入学への期待が高められた。
		菅平小中・長小・傍陽小・本原小	小 ・来入児競技の担当者は園児の世話をすることで親しみを感じ、1年生は、一つ上の先輩としての自覚が高まった。
		真田中	中 ・吹奏楽部の発表や展示作品を行い、休日の一般公開に来た小学生に文化祭を披露した。
7月19日	プール交流	本原小1年生と さなだ保年長・いずみ幼年長	幼 ・小学校のプールを体験し、1年生と一緒に遊んでもらったり面倒をみてもらい楽しく交流することができ、親近感を持つことができた。
7月、11月	体験入学	長小・本原小・傍陽小の6年	中 ・6年生が中学校に来て交流会や体験授業・部活見学を行った。中学校進学への期待と意欲を高める機会となった。
7月9日、10日	中学生の職場体験	中学生が保育園、幼稚園へ	中 ・中学生が保育園、幼稚園で職場体験を実施。体験を交えてのよいキャリア教育となる
7月 8月	交流活動・プール遊び	すがだいら保・いずみ幼・さなだ保	幼保 ・本原小学校から贈られたマリーゴールドの花のプランターの水くれや世話を保育士と一緒にしたり、お礼の作品を作って届けた。 ・菅平小学校の1年生が、すがだいら保育園に来て授業の発表をして見せてくれたり、保育園のプールで年長児と一緒に遊び親しみが持てた。
		菅平小・本原小	小 ・本原小学校でつくったマリーゴールドのプランターを園に配った。 ・菅平小学校の1年生が園児の前で張り切って発表し、保育園のプールと一緒に楽しく遊び交流した。

7月 8月	小中学校職員 保育体験研修	すがだいら保・さなだ保・そえひ保 いずみ幼	幼保	・小中の職員が各園の各クラスに入り、子どもたちと活動を共にして関わった。水遊び・絵本の読み聞かせ・製作手伝い・ゲームあそびなどを通して、園児達が小中の職員に親しみを持つことができた。普段の様子を見てもらうことにより、子どもについて小学校との共通理解が深まった。
		菅平小中・長小・傍陽小・本原小	小	・保育園での園児の様子を知る機会になり、保育士の園児への接し方について学び、各教師が小学校での子どもとの接し方について参考にしたり振り返ったりすることができた。・来入児の様子について具体的な情報収集ができた。
7月29日	真田地区学校職員会 前期人権教育研修会	真田地区幼保小中職員	全	・講師に斎藤洋一先生をお招きし、「部落差別問題を中心とする人権問題」というテーマで講演会を行った。部落差別問題に関する理解を深められた。
11月19日	真田地区学校職員会 後期人権教育研修会	長小・傍陽小・本原小 真田中・菅平小中	小中	・真田中で授業参観と授業研究会を行った。実際の授業を基に協議することを通して、人権同和教育の進め方について理解を深められた。
11月22日	中学校体験入学	傍陽小・長小・本原小・真田中	小中	・来年度真田中へ入学予定の6年生が、中学校で理科と英語の授業を体験した。中学校の施設や授業を実際に体験することを通して、入学に向けた意識を高めることができた。
12月13日	交流会	いずみ幼年長・そえひ保年長と 傍陽小1年	幼保	・小学校へ出かけ、1年生の授業を参観したり、学校探検をしたりして校内を知ることができ、学校への期待が大きくなった。 ・体育館で一緒に鬼ごっこをして遊び、親しみが持てた。
			小	・来入児を招待し、日頃の学習の成果をみてもらったり学校の中を案内したり、一緒に遊びながら交流を楽しんだ。
12月、1月	交流活動	さなだ保年長・いずみ幼の年長	幼保	・6年生が来園し、6年生の交流計画に基いて制作活動や水遊び運動遊びゲーム遊びなど、様々な形態で交流した。交流相手を定めての交流で親しみが増した。
		本原小6年生	小	・交流活動の計画をし、当日の活動を園児に伝え、リードして交流した。
1月、2月	来入児 一日入学	すがだいら保・さなだ保・そえひ保 いずみ幼・他園 来入児	幼保	・1年生の授業を参観させてもらい机に座り学習体験もしたり、1年生が学校を案内したり一緒に遊んでくれたことで、園児達は、小学校への親しみをもち入学を楽しみにする気持ちが持てた。
		菅平小・長小・本原小・傍陽小	小	・参観してもらったことで張り切って学習に参加していた。園児をリードして自己紹介やゲームあそびをしたり、校舎内の案内をしたりして交流会を行う中で、教えてあげるといふ気持ちが大きくなり、しっかりとした行動が見られた。
10月1日 1月27日	参観・情報交換・研修	真田中・菅平小中 本原小・長小・傍陽小 さなだ保・そえひ保・すがだいら保 いずみ幼	幼保 小中	・ブロック内各園長、各学校長が授業や保育を参観後、意見交換を行った。
1月24日	スキー交流	長小学校4・5・6年生と菅平中 1,2年生	小中	・長小学校のスキー授業で、各練習グループのアシスタントとして菅平中の生徒が加わり、インストラクターと共に用具脱着の支援や基本動作のアドバイスなどを行い交流を深めた。

令和元年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	依田窪南部中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
4月4日	入学式	武石保育園 武石小学校	小 中	保小中学校の入園式、入学式にお祝いメッセージを掲示する
7月2日～4日	職場体験学習	武石保育園 武石小学校	小 中	武石保育園・武石小学校へ中学校の職場体験学習で参加
8月3日	保育園研修会	武石保育園職員・武石小学校 職員・依田窪南部中職員	小	保育園の先生方の考えを聞いて、児童に対する自分の見方を振り返ることができた。
			中	園児の様子や園での指導方法や生徒の成長過程を知ることで、中学校へつながる指導の方向性を確認することができた。
9月3日	小中交流学習	武石小学校	小	
		依田窪南部中	中	文化祭に向けて、小中学生合同で歌の練習を行い、文化祭の発表に向けて意識を高めることができた。
9月27日	先輩を見習おう	武石小学校6年、職員 依田窪南部中生徒、職員	小	文化祭を通して、先輩方の話を聞いて中学に進学する意欲やこれから何をしたらよいか考え、意識を高められた。
			中	中学校の良さを話したり、自分が進んで活動していくことが多くなるなどの話をして、安心して中学に登校してほしいことを伝えられた。
11月2日	音楽を楽しもう	武石保育園児、職員 武石小学校全児童	保	音楽会に参加することを通して、小学校がより身近なものになった。
			小	先輩として、合唱や合奏を精一杯演奏して、小学校の良さや楽しさを伝えられた。
11月18日	中学校説明会	依田窪南部中学校	中	小学6年生の児童が中学校への入学に向けて、安心して中学校生活ができるようにその様子を伝えることができた。
1月17日 2月5日	一緒に遊ぼう	武石保育園年長 武石小学校1・2年	保	1・2年生と交流することで、小学校へ入学することへ意欲を高められた。
			小	来入児と関わりながら 2年生は低学年の最上級生の先輩としての気持ちを育てる。5年生は来年度なかよし学級として活動するためのきっかけとすることができた。